

令和5年度 飯塚市菰田地区 認知症声かけ訓練に

サポーターとして参加!!



講師の上村尚之先生です。



会場の様子です。

令和5年2月18日曜日午前10時から12時まで、飯塚市菰田まちづくり推進協議会主催の第4回菰田地区

認知症声かけ訓練に当院 認知症医療センターの室長の江頭がサポーターとして参加させていただきました。

国の推定では、来年で日本国民のうち、約700万人【約5人に1人】、福岡県でも30万人の方々が認知症になると言われています。誰が認知症になっても、住み慣れた地域で安全で、安心して暮らし続けられるために、地域での見守り活動をより確かなものにするため、平成30年9月2日、飯塚市菰田地区で初めての試みでしたが、認知症声かけ訓練が立ち上がっています。

当日は、菰田地区まちづくり推進協議会の社会福祉部会、防犯防災部会の方々を始め、飯塚市役所高齢介護課、飯塚東地域包括支援センター太陽の郷、飯塚市社会福祉協議会の職員など120名近くの方が参加されました。

今回初めて、菰田交流センターと菰田小学校に分かれての活動を実施。菰田交流センターでは座学、菰田小学校で、親子向けの認知症に関する勉強会、声かけを実施させて頂きました。

当院は、菰田交流センターにて実施した座学を担当、「認知症になっても大丈夫～私たちにできることを考える～」という演題で、福岡県認知症介護指導者 特別養護老人ホーム白川園の副施設長である上村尚之先生を講師に講演して頂きました。江頭はサポーターとして、司会進行等の役割を担わせて

頂きました。今回、このような機会を与えて頂いた、

菰田まちづくり推進協議会、菰田地区の皆様、そして、講師の上村先生、

ありがとうございました。

